

令和6年度 第3回千葉県教科用図書選定審議会 議事録

日 時：令和6年8月2日（金）

午後1時30分から

午後4時30分まで

会 場：中庁舎9階企画管理部会議室

出席委員（敬称略）

中田 邦明	榊原 正策	千葉 朋緒	長谷川 泰一	畠野 美和子
岩瀬 好央	富永 安男	藤ヶ崎 功	八斗 孝之	江ヶ崎 深智瑠
福田 恭子	高畠 尚子	佐川 桂子	大野 英彦	國見 亜姫
坂本 知子				

出席事務局職員

千葉県教育委員会教育次長	杉野 可愛
千葉県教育庁教育振興部学習指導課長	増田 武一郎
千葉県教育庁教育振興部学習指導課 主幹兼教育課程指導室長	大木 圭
教育課程指導室 指導主事	鈴木 加奈子
同 指導主事	久我 正光
同 指導主事	千葉 宣之
同 指導主事	藤井 新太郎
同 指導主事	村瀬 正

（事務局が進行）

1 開会

2 会議の公開・非公開について（会長進行）

3 報告（会長進行）

（1）第2回審議会の議事録について

（資料による）

（2）専門調査員会Ⅱにおける教科用図書の調査について

（事務局説明）

- ・6月13日、25日、7月5日、24日の4日間を設定。
- ・「県立中学校の採択に関する基本的な考え方」の調査研究の観点①～⑤に基づき

調査研究を行った。

【質疑等】

なし

4 議事

(1) 令和7年度使用県立中学校教科書の採択に係る校長意見について

(資料による)

【質疑等】なし

(2) 令和7年度使用県立中学校教科用図書の採択に係る答申(案)について

(事務局説明)

- ・教育委員会議において各校の教科書を1種目ずつ採択する。
 - ・「選定理由書」においては、両校にふさわしい教科書はどのようなものか、調査研究の観点に沿って調査した。
 - ・「調査研究資料」は、調査研究を行う過程で、各教科、観点に沿った調査項目について定量的に把握したものである。
- (会長確認事項)
- ・この選定審議会での議論は、採択権者である県教育委員会が採択の議論をする際に説明なされるものであり、ここで選定、採択がなされるということではないということが前提である。
 - ・適した教科書を1者に絞るという方法もあるが、多くの教科書があるので、複数者出すことも必要であると考え。そのため、決まりを設けず、委員と協議の中で話をしていきたいと思っている。目安としては、2者程度、多くても3者程度になるということでご承知いただきたい。
 - ・各教科の審議について、まず千葉中学校、それから東葛飾中学校のそれぞれの教科書について色々と検討を重ねてきたことを専門調査員の座長から説明をいただく。その後、説明に対する質問を受け、今度は委員から意見を聞くというように進めていく。その後、審議会としての意見をまとめるという形で議決を取りたいと考える。

【質疑等】なし

(3) 令和7年度使用県立中学校教科用図書選定理由書(案)について

(資料による)

進行(会長) 教科ごとに、調査結果の報告を調査員の代表である座長2名からしていただく。

以下、選定理由書に記載されている教科の順に教科ごとに審議していく。

進行(会長) ここから具体的に進めてよろしいか。

(委員) 同意

専門調査委員会の各部会の座長より、令和7年度使用教科用図書選定理由書(案)をもとに報告

① 国語

説明(座長)

(千葉中学校) 観点①について、教育出版、光村図書がよりふさわしいと考える。教育出版では、何をどう学ぶのかが明示されており、見通しをもって主体的に学ぶための工夫がなされている。光村図書は、「学びへの扉」や「学びのカギ」といった学習への足掛かりとなる項を各所に入れることで、自ら主体的に学習を深められるように配慮されている。また、資料が大変豊富で読書活動や語彙力の向上につながる点も配慮した構成になっている。

観点②について、教育出版、光村図書がよりふさわしいと考える。教育出版は、SDGsと関連させて平和やいのちの大切さ・多様性理解に関する教材が随所に取り上げられ、生徒の道徳性を育むことができるように配慮されている。光村図書では、国内外の平和に関する教材を取り扱っており、多様な考え方に触れられるよう「対話を生む」作品が配置されている。

観点③について、教育出版、光村図書がよりふさわしいと考える。教育出版では、障害者スポーツや生涯スポーツへの理解を促すことができるよう配慮されている。光村図書では、情報とSDGsを関連させ、防災や環境教育に関する教材が随所に設定され、実生活で活用できる力が育成できるように工夫されている。

観点④について、教育出版、光村図書がよりふさわしいと考える。教育出版では、我が国の伝統的な言語文化に関する教材や、国際社会の課題等について自分の考えを深める教材が適切に配置されている。また、光村図書では、「他者のものの見方や感じ方」を想像できる教材や、グローバル社会に対応する力を育む教材が各学年に配置されている。伝統芸能や近代文学などの名作の資料も充実している。

観点⑤について、光村図書がよりふさわしいと考える。発展的な学びにつながる読書活動や図書紹介が豊富に設定され、生徒の主体的な学びにつながるように工夫されている。学習の流れと、学習のポイントを明確に示すことで、教育目標にある、不断に学び続ける自主性を伸ばせるよう工夫されている。

(東葛飾中学校) 観点①について、教育出版、光村図書がよりふさわしいと考える。教育出版は「学びナビ」、「みちしるべ」によって学習の流れや課題を追究する方法を明確に示すことで、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。光村図書は「学びへの扉」で汎用性のある学習ポイントを明確に示すことで他教科の学習に生かせるよう工夫され、具体的な「振り返り」で、より深い学びにつながるように配慮されている。

観点②について、教育出版、光村図書がよりふさわしいと考える。教育出版は全ての教材をSDGsと関連付け、系統的・段階的に取り組める工夫がある。光村図書は意図的に対話を生む教材が配置され、多様な考え方に触れられる構成となっている。

観点③について、教育出版、光村図書がよりふさわしいと考える。両者ともに環境、安全等に関する教材を取り扱っており、生徒が主体的に考え、実生活で活用できる力を育成することができるよう工夫されている。

観点④について、教育出版、光村図書がよりふさわしいと考える。両者ともに日本の古典文学の素養となるような代表的作品が掲載されている。教育出版はグローバル社会の身の回りの課題を「言葉」という観点で捉え、自分の考えを深める工夫がされている。光村図書にも国際社会に関する教材が配置されており、グローバル社会に対応する力を育む工夫がされている。

観点⑤については、教育出版がよりふさわしいと考える。多様なカリキュラムや生徒の自主学習への対応等、学習の多様化や重点の強調等ができ、さらに3年間系統立てて学べるような補充教材や発展的資料が掲載されている。

進行(会長) 今の報告を聞きながら、各観点でよりふさわしいとされる発行者として挙げられるものを抽出してみた。千葉中学校では【光村図書】、【教育出版】がよりふさわしいと考える。東葛飾中学校では、【教育出版】【光村図書】がよりふさわしいと考えるがいかがか。

【質疑等】なし

進行(会長) 千葉中学校と東葛飾中学校の国語は【光村図書】と【教育出版】が、よりふさわしいということによろしいか。よろしければ、挙手を願う。

(委員) 挙手全員

② 書写

説明（座 長）

（千葉中学校） 観点①について、教育出版、光村図書がよりふさわしいと考える。教育出版では、主体的な学びの実現に向けて、学習の流れ・学び方がよく分かるように構成され、常に硬筆と毛筆の連携を図ることで、書写での学びを様々な学習や実生活に役立てられるよう配慮されている。また、光村図書では、学習の目標と学習のポイントが明確に示され、生徒が身に付けるべき力を確認しながら学習に取り組める構成になっている。

観点②について、教育出版、光村図書がよりふさわしいと考える。両者とも、「UD（ユニバーサル デザイン）書体」のコラムを通して、多様性について考える機会を設けるなど、書を通して自分や相手を大切にすることを養うことができるように工夫されている。

観点③について、東京書籍、光村図書がよりふさわしいと考える。東京書籍では、書写で身に付けた力を生活に生かす学習では、地域の防災訓練に関する教材等を取り上げ、日常生活で防災意識を高めることができるように工夫されている。また、光村図書でも同様に、環境保全や防災と書写の力を関連付けた教材等が取り扱われている。

観点④について、教育出版がよりふさわしいと考える。国語の教科書教材を取り入れながら、伝統的な文字文化から現代に生きる文字文化まで学ぶことができるよう工夫されている。特に、古典文学が多く取り入れられ、グローバルな視点から多くの人に伝えるための例を紹介するなど、日本の伝統と文化を尊重する心情が育つように配慮されている。

観点⑤について、教育出版がよりふさわしいと考える。学校行事と連動させやすい教材や文字全般に対する関心を高める教材が設定され、興味関心を高めながら、知識と教養を深めることができる内容となっている。また、文字全般に対する関心を高め、知識と教養を十分に深められる点は、学校教育目標に合っていると考えられている。

（東葛飾中学校） 観点①について、教育出版、光村図書がよりふさわしいと考える。教育出版では身に付けるべき資質・能力を意識しながら主体的に学習に取り組むための「目標」から「振り返り」までの学習の流れが明確に示されている。光村図書では日常で役立つ内容が記載されており、主体的な学習を促す内容となっている。

観点②について、教育出版、光村図書がよりふさわしいと考える。教育出版では文字を通して他を尊重する態度を養ったり、自身と向

き合ったりすることができるよう工夫されている。光村図書では「対話を生む」作品が配列されており、多様な考え方に触れられる工夫がある。

観点③について、東京書籍、光村図書がよりふさわしいと考える。東京書籍では活用単元「生活に広げよう」では、地域の防災、安全に関する題材が扱われ健康で安全な生活を実践する態度を育成する工夫がされている。光村図書では防災や安全に関する教材が、情報教育と関連させて各学年で取り上げられている。

観点④について、教育出版がよりふさわしいと考える。国語との関連が強く、古典作品を硬筆練習で取り扱い、日本の伝統文化について理解が深まる工夫がされている。また、体験を通して季節の文化に触れることができる点に特徴がある。

観点⑤について、教育出版がよりふさわしいと考える。教育出版では学習を実生活や他教科等の学びに発展的に広げることができるよう配慮され、生徒自らが探究心や向上心を高めていけるように工夫されている。

【質疑等】なし

進行（会長） 書写の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校、東葛飾中学校ともに【教育出版】【光村図書】がよりふさわしいということでもよろしいか。よろしければ、挙手を願う。

（委員）挙手全員

③ 社会

説明（座長）

（千葉中学校 地理） 観点①について、東京書籍と帝国書院がよりふさわしいと考える。東京書籍は、単元を貫く探究課題が設定され、思考ツールの活用により、段階的に思考力・判断力・表現力が身に付けられるように単元構成が工夫されている。帝国書院は、各所にある「対話」マークにより、話し合い活動を促しており、問題解決的な学習を通して主体的に活動ができるように工夫されている。

観点②について、東京書籍がよりふさわしいと考える。東京書籍は、「伝統・文化」「人権・平和」について、特設ページ等で取り上げ、他国の文化を尊重する意識や態度を養えるように構成が工夫されている。

観点③について、帝国書院がよりふさわしいと考える。帝国

書院は、各所で自然災害や防災を取り上げている。また、環境問題について章末の学習活動を活用して、主体的・対話的に学べるように構成が工夫されている。

観点④について、東京書籍がよりふさわしいと考える。東京書籍は、地場産業や伝統文化を多く取り上げることで、国土や郷土への理解や愛情を深められるように構成が工夫されている。

観点⑤について、東京書籍と帝国書院がよりふさわしいと考える。東京書籍は、まとめのページでは、段階的に取り組むことによって、単元を貫く探究課題の解決につながる構成になっており、主体的に幅広い教養を身に付けられるように構成が工夫されている。

(東葛飾中学校 地理) 観点①について、東京書籍と帝国書院がよりふさわしいと考える。東京書籍は、単元を貫く探究課題が設定されており、問いを中心に課題解決的な学習を実現できる工夫が見られ、生徒の主体的な学習を促進するなど、内容がより充実している。また、学習段階に応じ二次元コードが充実しており、動画やまとめ活動のコンテンツなど、個別最適な学びが確保され、ICT教育の充実も十分図られている。帝国書院は、随所にある「対話マーク」によって話し合い活動を促しており、問題解決的な学習を通して共同活動につながるよう工夫されている。

観点②について、東京書籍がよりふさわしいと考える。東京書籍は、「伝統・文化」「人権・平和」について、各所コーナーや特設ページで取り上げ、異文化を尊重し、正しく理解するよう配慮され、共生社会の視点で学べる工夫がされているのが特徴的で、幅広い教養を身につけられるよう構成されている。

観点③について、帝国書院がよりふさわしいと考える。帝国書院は、自然災害、防災環境問題について多く取り上げ、章末でも、主体的・対話的に環境問題を学べるよう構成されている。

観点④について、東京書籍がよりふさわしいと考える。東京書籍は、領土について学習する単元を設け、資源に着目して現状を理解できるように工夫され、国土や郷土への理解や愛情を深められる内容となっている。

観点⑤について、東京書籍と帝国書院がよりふさわしいと考える。東京書籍は探究課題の解決に取り組めるページが設定

され、見方・考え方を働かせ、公民的資質を養うための工夫や系統的に技能を習得できる構成となっている。帝国書院は、補充的・発展的な学習を促すための特設ページを設定し、主体的に学習に取り組み、理解を深められるよう構成されている。

【質疑等】なし

進行（会長） 地理の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校、東葛飾中学校ともに【東京書籍】【帝国書院】がよりふさわしいと思うことでよろしいか。よろしければ、挙手を願う。

（委員）挙手全員

（千葉中学校 歴史） 観点①について、東京書籍、帝国書院、日本文教出版がよりふさわしいと考える。東京書籍は、導入部やコラムが充実し、体験的に言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を育むように構成が工夫されている。帝国書院は、設定されたテーマに対し、歴史の見方・考え方を働かせ、主体的に思考・判断・表現し、自分の考えをまとめ、他者と意見を交換する学習で学びを深められるように構成が工夫されている。日本文教出版は、各単元で学びの方向性を示すことにより、学習活動で、体験的に言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を育むように構成が工夫されている。

観点②について、帝国書院がよりふさわしいと考える。帝国書院は、人権や平和の尊重に関するコラムを多く設定することを通して、人権尊重の意識や生命や個人を尊ぶ態度が養えるように工夫されている。

観点③について、東京書籍、育鵬社がよりふさわしいと考える。東京書籍は、震災を乗り越えてきた人々の姿に加え、歴史上の防災対策を取り上げることにより、防災への意識や態度が養われるように工夫されている。育鵬社は、震災の歴史をコラムで特集し、震災の記憶と教訓から防災への意識や態度が養われるように構成が工夫されている。

観点④について、育鵬社がよりふさわしいと考える。育鵬社は、日本の伝統や文化を注視できるように構成が工夫されている。また、古代から現代までの日本人の見方や考え方がとらえられるように構成が工夫されている。

観点⑤について、東京書籍と育鵬社がよりふさわしいと考える。東京書籍は、対話的な学習の場面を設けることで、他者

と協働しながら学習内容を深められるように構成されている。育鵬社は、各章の「学習のまとめ」では、複数の資料を提示し、意見交換や議論を通して、主体的・対話的な学びができるように構成されている。

(東葛飾中学校 歴史) 観点①について、東京書籍と帝国書院、日本文教出版がよりふさわしいと考える。東京書籍は、各章の導入部などに見られるコーナーで主体的・対話的な活動を、そして本文や章末では、本文に関する内容をより深めるような問題解決的な学習を取り入れているのが特徴である。コラムも充実しており、体験的に言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の育みに工夫がみられる。帝国書院は、歴史の見方・考え方を働かすことができるように、コーナーを設け、自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換したりすることで、学びを深めることができる構成となっている。日本文教出版でも体験的な学習が取り入れられ、地理同様に二次元コードへの配慮も特徴的で、動画や拡大図版等にアクセスでき、教育への深まりが見られる。

観点②について、帝国書院がよりふさわしいと考える。帝国書院は、人権尊重の意識を高め、生命や個人を尊ぶ態度を養えるように、人権・平和の尊重などについてのコラム学習のページが豊富にある。

観点③について、育鵬社がよりふさわしいと考える。育鵬社は、「震災の日本史」において、震災の歴史をコラムで特集しており、震災の記憶と教訓から、防災への意識や態度を養うように工夫されている。

観点④について、育鵬社がよりふさわしいと考える。育鵬社は教科書の巻頭で、文化財から日本の歴史をたどれるようになっており。世界遺産や国宝に印をつけ、日本の伝統や文化をじっくりと学ぶことができる構成となっている。

観点⑤について、東京書籍と育鵬社がよりふさわしいと考える。東京書籍は、基礎から幅広く深い教養を身に付けられるようになっている。また、対話的な学習の場面を設けることで、他者と協働しながら学習内容を深め合えるようになっている。育鵬社は、意見交換や議論などを行うことで、他者との対話や協働をしながら学習内容について深められるようになっている。

質問(委員) 両中学校ともに、観点①については9者中3者について二次元コー

ドのことに触れられていないが、2次元コード等の取り扱いが減ってきているのか。中学校の授業において、タブレット等ですぐに情報を調べられることは大変効果的であると思うのだが、どうか。

回答（座長） 調査研究資料にあるように、東京書籍が1番二次元コードの数が多い。発行者によっては非常に数が少ないところもある。

進行（会長） 歴史の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校、東葛飾中学校ともに【東京書籍】【育鵬社】そして【帝国書院】がよりふさわしいということによろしいか。よろしければ、挙手を願う。

（委員） 挙手全員

（千葉中学校 公民） 観点①について、東京書籍、帝国書院、日本文教出版がよりふさわしいと考える。東京書籍は、対話的な学習活動を促し、他者と協働で社会参画等を構想することで、知識・概念、技能や思考力・判断力・表現力を活用する学習活動が行われるように構成されている。帝国書院は、各単元冒頭で「章・節の問い」を設け、「学習課題」を設定し、学習する内容を問いの形で示すことで、主体的に課題解決学習が進められる工夫がされている。日本文教出版は、単元を貫く問いを設定し、「見方・考え方」の視点を活かしながら、単元を通して主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。

観点②について、東京書籍と帝国書院がよりふさわしいと考える。東京書籍は、各種資料、課題追究のコーナーで、共生社会について考えさせることで、人権を尊重する態度を養えるようになっている。帝国書院は、身近な例を示しながら基本的な人権の尊重と多文化理解を中心に法の意義を理解できるように工夫されている。

観点③については、育鵬社がよりふさわしいと考える。育鵬社は、防災方法の発信・活用に関して詳しく学べるようになっており、地域防災に取り組む意識と態度を養えるように構成されている。

観点④について、育鵬社がよりふさわしいと考える。育鵬社は、領土問題、拉致問題を取り上げ、各国民の相互理解と協力などの役割の重要について認識させ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように構成している。

観点⑤について、帝国書院、育鵬社がよりふさわしいと考

える。帝国書院は、特設ページにおいて、他者と互いに高め合うことで深い学びができるように工夫したり、実社会への共感をもとに社会貢献の志を育めるように考慮されたりしている。育鵬社は、終章である公民的分野のまとめの学習活動において、社会参画の意識を高められるように考慮されている。

(東葛飾中学校 公民) 観点①について、東京書籍、帝国書院、日本文教出版がよりふさわしいと考える。東京書籍は、対話的な学習活動を促し、他者と協働で積極的に社会参画や構想することで、知識・概念、技能や思考力・判断力・表現力を活用する場面となっている。帝国書院は、単元を貫く章・節の問いを設定し、問いを構造化し、課題解決的で主体的な学びが実現できるように工夫されている。日本文教出版は、単元を貫く問いを設定し、「見方・考え方」の視点を活かす「アクティビティ」が用意される等、単元を通じて主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。

観点②について、東京書籍と帝国書院がよりふさわしいと考える。帝国書院は「基本的人権の尊重」について、本文で身近な例を示しながら説明するなど、人権の尊重と多文化理解を中心に法の意義を理解できるように配慮が見られる。東京書籍は、「基本的人権の尊重」について、インクルージョンの観点を踏まえ、共生社会を考えさせることで、自他を敬愛し、人権を尊重する態度を養えるようになっている。

観点③について、育鵬社がよりふさわしいと考える。育鵬社は、「防災・減災と情報通信技術」において、震災と情報化との関連を取り上げ、防災情報の発信・活用に関して、関心をもって学べるような構成となっている。

観点④について、育鵬社がよりふさわしいと考える。育鵬社は、グローバル化時代の国境を越えた文化の交流と多様性を紹介し、他国を尊重する態度を養うような構成になっている。

観点⑤について、帝国書院と育鵬社がよりふさわしいと考える。帝国書院は、グローバル社会や人権等でよりよい社会を形成するための取組を紹介しているのが特徴的で、基礎基本の定着に加え、補足的・発展的な学習につながる構成となっている。育鵬社は、個人や班で取り組める対話的な学習を促すコーナーを通して、他者と協働して互いに高め合うことで深い

学びができるよう工夫されている。

【質疑等】なし

進行（会長） 公民の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校、東葛飾中学校ともに【帝国書院】【育鵬社】そして【東京書籍】がよりふさわしいということによろしいか。よろしければ、挙手を願う。

（委員） 挙手全員

（千葉中学校 地図） 観点①について、東京書籍と帝国書院がよりふさわしいと考える。東京書籍は、各所にある豊富な資料を活用して、資料を読み取る力や活用する力を高めたり、社会の在り方を考えたりすることができる。帝国書院は、課題解決的な学習を促す問いを設けることにより、社会的な見方・考え方やそれにつながる視点が示され、主体的な学びができるように構成されている。

観点②について、帝国書院がよりふさわしいと考える。帝国書院は、貧困や難民問題、食糧問題の資料を扱うことにより、世界の諸課題の理解を促し、生命や人権を尊重する意識を育むことができる構成になるように工夫されている。

観点③について、帝国書院がよりふさわしいと考える。帝国書院は、防災対策だけでなく、復旧や復興の視点を取り入れることで地域社会の一員としての防災への意識が高められるように構成が工夫されている。

観点④について、帝国書院がよりふさわしいと考える。帝国書院は、世界と日本とのつながりに関する資料が豊富にあり、各地域の特色をグローバルな視点で捉え、その資料を活用して発展的な学習ができるように構成が工夫されている。

観点⑤について、帝国書院がよりふさわしいと考える。帝国書院は、イラストを配した鳥瞰図を多数用意し、地域的特色を視覚的に捉え、多面的な視点をもつことができるように工夫されている。

（東葛飾中学校 地図） 観点①について、東京書籍と帝国書院がよりふさわしいと考える。東京書籍は、地図活用について地理的な見方・考え方を働かせながら、思考を深められるように工夫されている。帝国書院は、巻頭と巻末の資料図で主題学習を設け、テーマを追究する着眼点を設定し、問題発見・解決能力の育成ができるようになっており、主体的な学びができるよう構成になっている。

観点②について、帝国書院がよりふさわしいと考える。帝国書院は、貧困や難民問題や食糧問題の資料を扱い、世界の諸課題の理解を促し、生命や人権を尊重する意識を育めるように構成されている。

観点③について、帝国書院がよりふさわしいと考える。帝国書院は、東日本大震災の資料をはじめ、多様な災害と対策、防災教育を通じた学びには、生徒に課題意識を持たせ、切実感につながる工夫が見られる。

観点④について、帝国書院がよりふさわしいと考える。帝国書院は、「日本との結びつき」に関する資料も豊富で、発展的な学習への対応も工夫されている。

観点⑤について、帝国書院がよりふさわしいと考える。帝国書院は、巻末の統計資料は、国別、都道府県別の統計や産物のグラフが見やすく色分けされ、探究的な学習を進められるように配慮されている。

【質疑等】なし

進行（会長） 地図の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校、東葛飾中学校ともに【帝国書院】がよりふさわしいということによろしいか。よろしければ、挙手を願う。

（委員） 挙手全員

④ 数学

説明（座長）

（千葉中学校） 観点①について、東京書籍、啓林館、数研出版がよりふさわしいと考える。東京書籍は、授業での導入や問題解決の場面をはじめ、自学自習でも利用できる二次元コードによるデジタルコンテンツが充実している。また「数学×仕事」「数学のまど」等のトピックが充実しており、主体的な学習を促す配慮がされている。啓林館は、「本編」の導入時に身近な場面等を素材とし、興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう、また、各章の「説明しよう」等では、自分の考えを表現したり、対話的に学習に取り組めたりするよう配慮されている。数研出版は、各章の導入時に身近な事象等を素材とし、興味・関心を高め、問題解決的な学習ができるよう、また各章末の「学んだことを活用しよう」では、身の回りの問題を解決する構成があり、主体的な学びができるよう配慮されている。

観点②について、大日本図書、数研出版がよりふさわしいと考える。大日本図書は、「MATHFUL」で、点字やソーラーラッカー等を取り上げている。数研出版は、連立方程式において、ボランティア活動、「数学旅行」では、地球温桜の開花日等が取り上げ、道徳的側面がより充実している。

観点③について、全ての発行者が今日的な健康や安全における課題に関連した内容を取り扱っており、量・質ともに大きな差は見られない。

観点④について、大日本図書、学校図書、教育出版がよりふさわしいと考える。大日本図書は、連立方程式において数学の手引き書「算法童子歌車」やフード・マイレージ等が取り上げられている。学校図書は、文字式では関孝和の「和算」やエシカル消費等が取り上げられている。教育出版は、平面図形において日本の伝統模様や地球温暖化等が取り上げられ、3者ともに日本の伝統文化やグローバル社会の内容がより充実している。

観点⑤について、啓林館、数研出版がよりふさわしいと考える。啓林館では、数学的活動を通して、基礎・基本の習得とともに、生徒が主体的に活用する力の育成が図られる内容となっている。また、巻末の「数学広場」では、発展的な問題や復習問題を配して、生徒の一層の学習を促している。数研出版では、説明や例題、基本問題が充実し、更に数学的な見方・考え方を取得し定着を図れるように工夫されるとともに、発展的な学習も充実している。また、「活用しよう」等は、探究もできる自学教材としても適している。

(東葛飾中学校) 観点①について、東京書籍、啓林館、数研出版がよりふさわしいと考える。東京書籍は、導入や利用の場面で活用できる動画やシミュレーション等二次元コードによるデジタルコンテンツが充実している。また、単元の導入では、日常生活の事象等、生徒の興味・関心を引く題材を取り上げ、新しい単元の学習の見通しを立てることができるように工夫されている。啓林館は、各単元の「学習のとびら」では、日常生活の題材等を扱い、数学が生活や社会で活用されていることが実感できるように工夫されている。また、各単元の利用では、問題発見・解決の過程を取り入れた「ステップ方式」を通して、数学的な見方・考え方を働かせて問題解決できる構成になっている。数研出版は、素材提示が対話形式になっており、多様な考え方や誤った考え方を提示することで、数学的な見方・考え方を働かせて、問題解決が進められるように工夫されている。また、「学んだことを活用しよう」

では、日常生活の題材等を活用した「探究的な学習」や「課題学習」が用意され、活用力を高める工夫がされている。

観点②について、大日本図書、数研出版がよりふさわしいと考える。大日本図書では、問題発見・解決の過程で、生徒が考えを表現し、話し合い、他者の考えを尊重する態度を養えるように配慮されている。研出版では巻末の「数学旅行」において、地球温暖化に関する内容を扱い、課題解決のあり方として、他者との話し合いの場面を多く設定している。

観点③については、先ほどの千葉中学校の報告と同様で、大きな差はみられない。

観点④について、大日本図書、学校図書、教育出版がよりふさわしいと考える。大日本図書では、国内外で活躍する人物を取り扱うとともに、他国の数学者や文化について取り上げている。学校図書では、「トラス構造」や「白銀比」等、我が国の建造物との関係を取り扱うとともに、「SDGsの17の目標」が取り扱われている。教育出版では、「ミウラ折り」や「日本の伝統模様」を取り扱うほか、「黄金比」の例として他国の建築物や彫刻が取り扱われている。

観点⑤について、啓林館、数研出版がよりふさわしいと考える。啓林館では、「問題発見・解決の流れ」を一人一人がステップ1～3の段階を踏むことで、問題の解決手順を身につけるように工夫されている。数研出版では、発展的な内容を扱うことで、数学の楽しさや奥深さを感じられるよう工夫されていることに加え、「TRY」や「学んだことを活用しよう」では、協働して学習ができるような工夫が多くされている。

質問(委員) この観点で調べたら、「こことここがよりふさわしい。」一方で、「この観点で調べたら各発行者違いがなかった。」とある。どちらが望ましいのか。確かに違いはないかもしれないが、違いもあるのではないかと考えるが、どうか。

進行(会長) では、座長に伺う。それぞれ大差がないというのは、その中でも何か差があったのか、あるいは、項目が全く別物なのでこれは比較ができないのか、それとも同じような項目を扱ったので差がないと判断したのか、そこを確認したい。

回答(座長) 観点③については、調査研究資料による量的な面でも、選定理由書の質的な面でも差がないと判断した。各発行者が、それぞれ地震のことや自動車の制動距離のこと、AEDのこと等を取り上げるなど同様の内容を同様に扱っていることから、大きな差がないと報告した。

進行（会 長） 観点③については、教科によっては、判断が難しいところもあろうかと思う。差がないというような場合もあるが、審議会としてはよりよいものは何かという観点で審議をしていくということでどうか。

（委員） 同意

質問（会 長） 7者ある中で、よりふさわしいという観点が多かった発行者は、数研出版で、その他には啓林館、東京書籍、大日本図書があるが、4つ候補にあげるとなると7者の場合、多いと感じる。少し絞るべきと考える。総合的に考えた場合について、座長から意見を伺いたい。

回答（座 長） 千葉中学校は、数研出版、啓林館がよりふさわしいと考える。

回答（座 長） 東葛飾中学校では、同じく数研出版と啓林館がよりふさわしいと考える。

進行（会 長） 数学の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校、東葛飾中学校ともに、【数研出版】【啓林館】がよりふさわしいということによろしいか。よろしければ、挙手を願う。

（委 員） 挙手全員

（休憩）

⑤ 理科

説明（座 長）

（千葉中学校） 観点①について、啓林館、東京書籍がよりふさわしいと考える。啓林館は、主要な実験・観察以外にも「ためしてみよう」で豊富な実験観察が示されていることに加え、生徒が仮説をたて、実験を計画し、探究を進める「みんなで探Q実験」なども充実している。二次元コードは発表のためのテンプレートや音の波形をみるアプリなど生徒の主体的な活動を直接サポートするコンテンツで構成されている。東京書籍は観察・実験を軸に探究する流れの構成になっている。二次元コードは実験操作手順や基本操作の動画に加え、例題・練習章末・単元末の問題などを見ることができるようになっている。調査項目では学校図書が高い値を示しているが、内容を調査したところ、千葉中学校の目標に照らし合わせてみると基礎基本を重視したものが多く、発展的な内容が他のものに比べ十分ではないと判断した。

観点②について、東京書籍と教育出版がよりふさわしいと考える。東京書籍では、身近なものから歴史的なものまで、偉業や技術を数多く紹介し、学習内容と普段の生活との関連を示し学習意欲を高めるよ

うな工夫が見られる。教育出版では、『話し合おう』などの場面をマークで示し、明確に設定することでグループ活動を促している。

観点③について、「健康や防災・安全に関する内容」の項目では、どの教科書もコラムを設けたり、SDGsのコラムの中を含めたりしながら取り扱っており、どの発行者も内容が充実している。調査研究資料においても項目の値の違いに大きな差は見られなかった。

観点④について、大日本図書と啓林館がよりふさわしいと考える。大日本図書では、千葉県各地の写真が多く掲載され、郷土に自信の持てる構成になっている。また、国内外の偉人を数多く掲載しており、生徒の科学に対する興味関心を高めようとしている。さらに、チバニアンやニホニウムについて記述や日本のノーベル賞の受賞者が紹介されている。啓林館では、「科学誌」というコラムを設け、科学技術の発見に寄与した偉人を紹介し、生徒の探究心の育成を図っている。

観点⑤については、啓林館が千葉中の学校教育方針によりふさわしいと考える。啓林館では、学習内容に関連したものが多く取り扱われている。また、「それってホント」のトピックでは、他の意見や考察が正しいのかを再度考えさせている。さらに、千葉中学校の「一人一研究」へつながるコラムが豊富であり、学校設定教科「学びのリテラシー」や総合的な学習の時間において活用が図られるものと考えられる。また、日常社会での科学の利用や高校等での学習内容にも触れ、より深い学びへとつなげようとしており、千葉中学校の「スパイラル学習」での活用が期待できる。

(東葛飾中学校) 観点①について、啓林館と東京書籍がよりふさわしいと考える。啓林館は、探究活動に特徴があり、問題解決の仕方を生徒に委ね、主体的な活動につなげている。また、二次元コードにより豊富な音声動画やコンテンツを用意している。例えば「ICTでトライ」という項目では、音の波形を記録できるツールがあり、GIGA スクール構想の観点において内容が充実している。東京書籍は、個々の観察・実験について二次元コードによる手順の説明動画や簡単な実験動画が豊富である。また職業に関するインタビュー動画もあり、内容が充実している。学校図書は、ほぼ全ページに二次元コードがあるが、主に文章と画像による補足説明で、質的には十分でない判断した。

観点②について、東京書籍と教育出版がよりふさわしいと考える。東京書籍は、日本人の偉業について詳しく、生徒の自尊心の向上につながる。また、SDGsの観点での環境保全や道徳的な問いかけもあり内容が充実している。教育出版は、「ハローサイエンス」で日

本の技術や環境問題について取り上げ、道徳的内容を考えられることから内容が充実している。

観点③について、発行者による違いはほぼないが、啓林館と大日本図書に特徴がある。啓林館は、実験中の安全や、災害時の対応についての事例が多岐にわたっている。また、コラム「防災減災ラボ」で、身近な内容から最新の科学技術まで幅広く紹介している。大日本図書は、実験中の安全について周囲の環境や服装についてのチェックリストもある。

観点④について、大日本図書と啓林館がよりふさわしいと考える。大日本図書は、「世界のあしあと」で世界の偉人とその頃の日本について図やイラストを交え紹介する内容があり、啓林館は巻末「近代科学・技術の発展」で日本人のノーベル賞受賞者や偉人が年代別に紹介されており、両発行者共、グローバルの観点において内容が充実している。

観点⑤について、啓林館がよりふさわしいと考える。啓林館は、東葛飾中学校の教育方針の各観点において内容が充実している。「観察・実験のスキル」や「サイエンス資料」で基本事項を確認し、「つながらる学び」で既習事項との関連を整理し、「学んだ後にリトライ」で達成感を実感できる。また、他教科との関連や、「深めるラボ」などの発展的内容も充実している。日本各地のSDGsの実践を全学年付録ページで見開きとしたり、「探Qのたね」や単元末の「みんなで探Qクラブ」などの未知の課題を提供したりしている。

【質疑等】なし

進行（会長） 理科の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校、東葛飾中学校ともに、【啓林館】と【東京書籍】がよりふさわしいということによろしいか。よろしければ、挙手を願う。

（委員）挙手全員

⑥ 音楽

説明（座長）

（千葉中学校 音楽一般） 観点①について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。教育芸術社は、1年間のねらいや内容が明確に示されており、ポイントを押さえながら主体的に学習を進められるよう工夫されている。

観点②について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。教育芸術社は、多様性を尊重し、季節や自然、故郷を

大切に思う心を育てることのできる教材が多く、個人の価値や生命の尊さを学ぶことができる。

観点③について、どちらの発行者も健康の保持増進や安全などに関連した内容を取り扱っている。

観点④について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。教育芸術社は、自国の文化に対する誇りをもつことができるよう、我が国の様々な音楽や伝統芸能を取り上げている。また、生徒が興味・関心をもって自分の住む地域の文化に親しむことができるよう、民謡をはじめ、祭りや芸能を取り上げている。

観点⑤について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。生徒が思いや意図をもって創作に取り組めるように、設問の内容が配慮されている。また、生徒の興味・関心に応じた学びができるデジタルコンテンツが充実している。そうしたことから、個別最適な学びや協働的な学びを通して、自主性を伸ばす工夫がされている。

(東葛飾中学校 音楽一般) 観点①について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。教材ごと、明確な学習のめあてとともに、生徒の思考を促す視点も示されており、自分はどのように表現したいか、また、どの様なことに気を付けて聴きたいかという主体的な学びになるよう配慮されている。「学びのコンパス」では、楽曲に対する個々の考えを明確にした上で、対話的な学習につなげ、深めることができるように工夫されている。教材に対応したデジタルコンテンツも充実しており、効果的な活用が期待できる。

観点②について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。合唱曲では、友情・希望がテーマになる楽曲が多く取り上げられ、心情について考えながら学習を進めることができる。

観点③について、どちらの発行者も健康の保持増進や安全などに関連した内容を取り扱っている。

観点④について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。我が国の伝統的な音楽や郷土の音楽、諸外国の音楽等の多様な教材を取り上げるとともに、演奏者によるアドバイスやそれらの継承について示され、音楽文化の理解と尊重について学べるよう工夫されている。

観点⑤について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。「学びの地図」に学習内容と教材、身に付けられる資質・能力が示されていることで、基礎基本をしっかりと定着させるとともに、目標をもち、主体的に学習を進められる。楽譜や演奏動画の他、背景となる文化や歴史に関する資料も多くあり、グローバル社会で活躍する素地の育成が図られている。

【質疑等】なし

進行（会長） 音楽一般の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校、東葛飾中学校ともに、【教育芸術社】がよりふさわしいということではよろしいか。よろしければ、挙手を願う。

（委員） 挙手全員

（千葉中学校 器楽） 観点①について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。学習内容や教材を分かりやすく示した「学びの地図」があることで、ポイントを押さえながら主体的に学習を進められるよう工夫されている。さらに音色やリズムなどの音楽を形作っている要素を分かりやすく表記するなど工夫がされていて、練習曲では、耳に馴染んだ曲が厳選されており、時数が少ない中でも効果的に取り組むことができるよう配慮されている。

観点②について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。楽器の演奏を通して、社会と音楽とのつながりを理解できるよう教材が工夫されている。また、他者との交流やアンサンブルについては、お互いを尊重しながら奏でられるように、工夫がされている。

観点③について、教育出版がよりふさわしいと考える。楽器を演奏する際の姿勢や表現における無理のない身体の使い方について、教材が工夫されている。

観点④について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。日本の音階などを使って、まとまりのある旋律をつくる学習活動を通して、我が国の伝統的な音楽に親しむことができる。なお、調査研究資料では、教育出版が高い値を示しているが、具体的な内容を調査した結果、量的に多いのは教育出版だが、質的には教育芸術社の内容がより充実していると判断した。

観点⑤について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。各楽器や各パートの役割を知り、その役割を一人一人が担うことを通し

て、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう工夫されている。また、グループ活動の中で協働しながら学習を進められるよう配慮されている。なお、調査研究資料では、教育出版が高い値を示しているが、具体的な内容を調査した結果、量的に多いのは教育出版だが、質的には教育芸術社の内容がより充実していると判断した。

(東葛飾中学校 器楽) 観点①について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。学習のねらいと内容が明確に示されており、技能を段階的に身に付け主体的に学習に取り組めるよう教材が配列されている。「学びのコンパス」は、楽曲に対する自分の考えをもち、友達との意見交流を通して演奏技術や表現力を高めていけるよう工夫されている。

観点②について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。楽器の演奏を通して、社会とつながるとい音楽文化を理解できるよう教材が工夫されている。また、和楽器の奏法と礼儀についても示されている。

観点③については、教育出版がよりふさわしいと考える。楽器を演奏する際の姿勢や無理のない体の使い方について、写真等により具体的に示されており、説明も適量である。

観点④について、教育芸術社がよりふさわしいと考える。世界の様々な楽器を7つに分類して紹介している。また、和と洋を融合させた新たな音楽を紹介し、興味関心が広がるように工夫されている。

観点⑤については、教育芸術社がよりふさわしいと考える。生涯、音楽を愛好していくための素地となる基礎的な内容がしっかりと示されているとともに、個の興味関心に応じて主体的に学習が進められるよう、選曲や配列が工夫されている。さらに、グローバル社会に通用する教養としての知識も豊富に掲載されている。また、自他の考えを交流させながら演奏をつくり上げる学習の流れが示され、活動を通して人間力が培えるよう配慮されている。

質問(委員) 東葛飾中学校の理由書に「学びのコンパス」と「学びの地図」と両方の表記があるが、どう使い分けているのか。

回答(座長) 「学びの地図」は表紙の裏に、このような要素を勉強するのか、どのような目標に向かっていくのかがわかるようになっている。「学びのコンパス」は、学習の内容が示されており、自分の感じたことや聞き取ったことを記述し、それをもとに「こういう観点で友達と話し合いをしよう。」「こんな表現をしよう。」というような学習過程が段階的に

設定されている。

進行(会長) 音楽一般の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校、東葛飾中学校ともに、【教育芸術社】がよりふさわしいということにより、よろしいか。よろしければ、挙手を願う。

(委員) 挙手全員

⑦ 美術

説明(座長)

(千葉中学校) 観点①について、よりふさわしい発行者は、日本文教出版で、画材の特徴を生かした作例提示や技法解説が充実しており、生徒の興味を惹き、知的探究心を引き出す構成になっている。また、図版が大きく、見やすい紙面である。二次元コードの掲載ページも充実している。

観点②について、開隆堂と日本文教出版がよりふさわしいと考える。開隆堂は、題材と道德との関連をはっきり示してはいないが、自分らしい表現の追求のプロセスを示すなど、道德との関連が考慮されている。日本文教出版は、「道德との関連」項目が、生徒にわかりやすく示されている。また、集団や社会との関わりに関する内容が充実している。

観点③について、開隆堂、光村図書、日本文教出版の3者とも安全についての注意事項マークがあり、活動に際しての危険に配慮されている。

観点④について、よりふさわしい発行者は日本文教出版で、日本の美術文化や伝統文化に関する作品が原寸大図版や高精細印刷技術を用いて数多く紹介されている。また、伝統工芸については、自然や日本のあらゆる地域の美しさ、郷土の文化に目を向けながら、伝統や文化に対する理解が深められるような内容となっている。

観点⑤について、よりふさわしい発行者は日本文教出版で、生活や社会と結びついた美術の学びに重点を置き、様々なジャンルから美術に関わる情報を掲載しており、幅広い知識や教養を意識させる工夫が見られる。また、互いの違いやよさを認め合う様子を多く配置し、インクルーシブに配慮したデザインや社会参画を促すような作品・題材が掲載されているとともに、日本の伝統文化の多様性や現代的な諸課題について、美術との関わりを通して考えを深められるようになっている。

(東葛飾中学校) 観点①について、よりふさわしい発行者は日本文教出版で、画材の特徴を生かした作例提示や技法解説が充実しており、生徒の興味を

惹き、意欲を引き出す構成になっている。また、図版が大きく、見やすい紙面で、二次元コードの掲載ページも充実している。

観点②について、開隆堂と日本文教出版がよりふさわしいと考える。開隆堂は、題材と道德との関連をはっきり示してはいないが、自分らしい表現の追求のプロセスを示すなど、道德との関連を考慮されている。日本文教出版は、「道德との関連」項目が、生徒にわかりやすく示されている。また、集団や社会との関わりに関する内容が充実している。

観点③について、開隆堂、光村図書、日本文教出版の3者とも安全についての注意事項マークがあり、活動に際しての危険に配慮されている。

観点④について、よりふさわしい発行者は日本文教出版で、原寸大図版や高精細印刷技術を用いて色味や細部の表現に努めるなど、日本美術や諸外国の多種多様な作品の繊細な表現を実感することができるようになっている。

観点⑤について、よりふさわしい発行者は日本文教出版で、発達段階に応じて3分冊の紙面構成になっているほか、巻末には多様な活動に対応できるよう基本的な知識や技法について示されている。全ての題材において、表現と鑑賞が一体的に学習できるよう工夫された構成になっており、目標を明確にし、活動のヒントや視点を掲載することによって、自ら考え課題解決できる資質や能力の育成を図れるよう工夫されている。

【質疑等】なし

進行（会長） 美術の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校、東葛飾中学校ともに、【日本文教出版】がよりふさわしいということによろしいか。よろしければ、挙手を願う。

（委員） 挙手全員

⑧ 保健

説明（座長）

（千葉中学校） 観点①について、よりふさわしい発行者は、東京書籍が挙げられる。東京書籍は、各単元で他者に説明したり、話し合ったりするグループ活動が設定されており、対話的・協働的に課題解決に取り組むことができるよう配慮されている。また、学習の流れが明確であり、学習した知識を更に活用・展開しやすい内容になっている。各単元にはデジ

タルコンテンツ、章末資料も豊富で興味関心を高める内容になっている。

観点②については、4者とも生命尊重の心や自尊感情、規範意識など、道徳教育との関連を考慮した内容が充実しているが、特に、東京書籍は章の始めに道徳科の関連項目を示し、更に道徳教育の関連場面を随所に掲載することで、道徳性を養う内容になっていることから、より内容が充実している。

観点③について、よりふさわしい発行者は、東京書籍が挙げられる。東京書籍は、身近な場面設定をすることで、主体的に判断し、健康で安全な生活を実践する態度を育成する内容になっている。特に、疾病の予防や感染症の予防、心の健康について、各資料がより具体的に事例を挙げており、活用しやすく、主体的に学びやすい内容になっている。

観点④について、4者とも国際的なスポーツ大会の意義を詳細に説明することや国や民族、人種を越えた交流の写真を随所に掲載することで、グローバル社会に対応した資質・能力を育む内容になっている。特に、大日本図書は、スポーツの起源や意義についての資料が充実し、また、オリンピック等の文化的意義を学ぶことで、国際理解を深める内容になっており、より内容が充実している。

観点⑤について、よりふさわしい発行者は、東京書籍が挙げられる。東京書籍では、興味・関心に応じて学びを深め広げることができる資料やコンテンツが豊富に用意されている。また、生徒が主体的に考え、課題を解決し、実生活に落とし込める工夫がされている。

(東葛飾中学校) 観点①について、よりふさわしい発行者は東京書籍が挙げられる。東京書籍は、主体的に学習に取り組めるよう、学習課題、まとめなどにおいて日常と照らし合わせ、自分のこととして学べる工夫がなされている。直接追加資料等に飛ぶ二次元コードを活用することで、学びを深め、広げられる工夫がなされている。

観点②については、4者ともにイラストを用い、第二次性徴、生命尊重について理解が深まるよう工夫されている。特に、東京書籍については章末資料が充実しており、道徳との関連が持てるよう工夫されている。また、心の健康について6単位時間配当され、丁寧にストレスへの対処、人との関わり方を学べるため、より内容が充実している。

観点③について、よりふさわしい発行者は、東京書籍が挙げられる。東京書籍は、健康の保持増進について、身近な場面設定や事例、また

章末資料、巻末スキルブックが充実しており、より深く学ぶことができる工夫がなされている。また安全教育についても、より自分事としてとらえ、日常生活を振り返らせる工夫がされているため、より内容が充実している。

観点④については、4者ともに各種国際大会、オリンピック・パラリンピックを取り上げ、またスポーツへの多様な関わり方について記載されている。特に、大日本図書については、冬のスポーツにも多く触れ、また日本選手のエピソードを掲載するなどより身近に国際大会を捉えることができるよう工夫されている。防災に関する学習において、地域との中学生としての関わり方、中学生にもできることを考えさせ主体的に学べる内容となっているため、より内容が充実している。

観点⑤について、よりふさわしい発行者は、東京書籍、大修館書店が挙げられる。東葛飾中学校が掲げる基本理念、「世界で活躍する心豊かな次代のリーダーの育成」また「探究的な学びの充実」に必要な課題解決という点において、東京書籍は、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」という学習の流れが主体的な学びにつながるように工夫されている。また、大修館書店は、対話をする場面が多く設けられており、協働的で探究的な学びが一層充実するよう工夫されている。

【質疑等】なし

進行（会長） 保健の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校、東葛飾中学校ともに、【東京書籍】がよりふさわしいということである。よろしいか。よろしければ、挙手を願う。

（委員） 挙手全員

⑨ 技術・家庭

説明（座長）

（千葉中学校 技術） 観点①について、東京書籍と開隆堂がよりふさわしいと考える。「問題解決例」を多く取り上げ、主体的に調べたり、比較・検討したりするための発問が充実している。また、開隆堂についても、発展的な内容や映像資料が充実しており基本的な流れをおさえてから具体的な実習例を示している点がより充実している。

観点②について、東京書籍がよりふさわしいと考える。「他教科 道徳」マークが添えられ、道徳性を高める教材が、意図

的に盛り込まれている。

観点③について、開隆堂がよりふさわしいと考える。安全や防災について、個々の学習場面と関連付けて、実践的で主体的な学びができる内容となっている。

観点④について、開隆堂がよりふさわしいと考える。日本の伝統的な技術や技能について数多く取り上げ、自らの生活の中でも継承・発展できるようになっている。

観点⑤について、開隆堂がよりふさわしいと考える。「考えてみよう」や「課題」が数多く設定されており、学習内容を自主的に考え、深められるように配慮されている。また、学習課題について、自らの思考力を働かせ、問題発見から解決に導くなど、主体的な学びを促す工夫がされている。

(東葛飾中学校 技術) 観点①について、東京書籍と開隆堂がよりふさわしいと考える。体験的な活動を多く例示し、技術の見方・考え方を働かせながら主体的に学ぶように方向付ける構成となっている。また、開隆堂では、系統的に実習例が展開されており、主体的に学べる工夫がされている点が充実している。

観点②について、東京書籍がよりふさわしいと考える。情報モラルや「他教科 道徳」のマークで関連する多くの内容を取り上げており、道徳教育との関連内容の掲載が多く取り上げられている。

観点③について、開隆堂がよりふさわしいと考える。安全や防災について、学習場面と関連付けて随所にマークを使って取り上げ、実践的で主体的な学びができる内容となっている。

観点④について、開隆堂がよりふさわしいと考える。日本の伝統的な技術や技能が日本の文化を支え、発展させてきたことを理解し、自らの生活の中でも継承・発展できるようにさせていく構成となっている。

観点⑤について、開隆堂がよりふさわしいと考える。実習例を豊富に取り上げ、最適化された技術のしくみをとらえて主体的に問題解決に取り組むための工夫がある。また、多くの技術を組み合わせ、統合された実習を取り上げ、より深い問題解決に取り組めるよう配慮されている。

【質疑等】なし

進行(会長) 技術の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校、

東葛飾中学校ともに、【開隆堂】がよりふさわしいということにより
しいか。よろしければ、挙手を願う。

(委員) 挙手全員

(千葉中学校 家庭) 観点①について、東京書籍と開隆堂がよりふさわしいと考
える。主体的に調べたり友達と協働して比較・検討したりする発
問から、深い学びの実現と問題解決能力を高めることができる
よう工夫されている。そして、開隆堂については、生徒の主
体的な活動を取り入れ、課題解決に向け工夫がされている。

観点②については、開隆堂がよりふさわしいと考える。食
品ロス服のリメイク、地球温暖化等、身近な環境問題の例が多
い等の工夫がされている。

観点③について、開隆堂がよりふさわしいと考える。日本の
伝統的な技術や技能について数多く取り上げ、自らの生活の
中でも継承・発展できるようにしてある。

観点④について、東京書籍がよりふさわしいと考える。視
覚的資料が豊富で、これからの和食文化や和服文化等を体験
的に学べるよう工夫されている。

観点⑤について、開隆堂がよりふさわしいと考える。生活
の中から課題をみつけられるような記述や課題が配置され生
活の営みに係る見方・考え方の視点を示すことで、「主体的・
対話的で深い学び」の実現を促し、問題解決の力が養える
ように構成されている。また、現代的諸課題に対応した事例
から関心をもって学習に取り組んだり、他教科・他分野との
関連マークにより教科等横断的な深い学びに結び付けたりす
る工夫がされている。

(東葛飾中学校 家庭) 観点①について、東京書籍と開隆堂がよりふさわしいと考
える。自ら考え問題解決できるよう思考を深める活動を取り
入れた構成となっており、生活の中から課題を見つける際に
補助となる内容が記載されている。その上で、開隆堂では、
生活の中から課題を見つけ実践し、生活に活かす学習過程を
重視している点が充実している。

観点②について、開隆堂がよりふさわしいと考える。将来
的な環境問題の視点をもたせることができるよう、身近な
環境問題の例を多く取り上げて工夫されている。

観点③について、開隆堂がよりふさわしいと考える。防災

について実践例を多く取り上げ、防災を特別なものではなく、日常生活の一部と捉えることができる工夫がされている。

観点④について、東京書籍がよりふさわしいと考える。日本の文化を理解するために必要な視覚的資料が豊富で、これからの和食文化や和服文化等を体験的に学べるよう工夫されている。

観点⑤について、開隆堂がよりふさわしいと考える。課題解決から問題解決の過程を一連の学習として体験できるように構成されている。またマークや実践例が豊富にあり、身近な生活の問題を地域や社会の環境へと関連付けて学習できる工夫がされている。

【質疑等】なし

進行（会長） 家庭の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校、東葛飾中学校ともに、【開隆堂】がよりふさわしいということにより、よろしければ、挙手を願う。

（委員） 挙手全員

⑩ 外国語

説明（座長）

（千葉中学校） 観点①について、東京書籍・三省堂・光村図書がよりふさわしいと考える。東京書籍は、単元の後半に読解力の育成を目指したラウンドリーディングや、学んだことを活用して思考力・判断力・表現力を高める統合的な活動が設定されている点が評価されている。三省堂は、単元の目標が具体的に示され、学習活動と振り返りを通して学習者が主体的に取り組み自己調整するサイクルが確立されるよう配慮されている点が評価されている。光村図書は、学びのヒントが各所に配置され、学習者が自らの力で学びを進められる工夫がある点、自己評価を通して主体的な学びを実現する構成となっている点、単元の最後に学んだことを活用して思考力・判断力・表現力を高める統合的な活動が設定されている点が充実している。

観点②について、どの発行者も今日の道徳的課題に関連した内容を扱っており、その割合に大きな差異はない。光村図書は、平和や人権・平等・公正について深く考えさせる題材が取り入れられ、他人のいたみのわかる、潤いに満ちた人間性を育成することにつながる

考えられる。

観点③に関連した内容を扱う教材の割合に、各者とも大きな差異はない。光村図書は、防災や福祉等、すべての人に安心・安全なまちづくりについて考え、表現するなど、社会貢献の志を培うことにつながる題材が取り入れられている。

観点④について、東京書籍・三省堂・光村図書がよりふさわしいと考える。東京書籍は、国際理解や国際貢献を扱う単元が多く、国による文化の違いや国際社会が抱える問題について興味・関心を高められるように工夫されている点が充実している。三省堂は、世界の様々な文化に触れる題材が配置され、多様な生き方を通して視野を広げることができるよう工夫されている点や、日本の伝統文化への理解を深め発信できるように工夫されている点が充実している。光村図書は、日本の伝統文化や郷土の魅力に触れたり、世界の中学生の生活など異文化を身近に感じたりできるストーリーが取り入れられ、多様な文化を認め合う態度や日本文化について発信する力を育成するよう工夫されている点が充実している。

観点⑤について、教育方針等に対し光村図書がよりふさわしいと考える。光村図書は、生徒の興味・関心を引き付ける身近な話題から、現代社会が抱えるローカルな課題やグローバルな課題まで幅広い題材が扱われており、学習者が主体的に自分の考えを発信する機会を十分に設定できる内容となっている点が充実している。また、実社会での言語使用場面が具体的に設定され、学習者が既習事項を生活や社会問題に結び付けて深い学びを実現することができる内容となっていること等から、学校の教育方針によりふさわしいと考える。

(東葛飾中学校) 観点①について、よりふさわしい発行者は、東京書籍、三省堂、光村図書が挙げられる。東京書籍では、読解力の育成を目的に、視点や読解のポイントを絞ることで、繰り返し英文を読む活動が、より意図的に取り入れられている点が充実している。三省堂では、単元の目標・ゴール、学習の振り返りの取組等がより具体的に示され、問題解決的な学習に見通しをもって取り組めるよう構成されている。また、4技能5領域の諸活動がコミュニケーション活動に向けてバランスよく段階的に配列されている点が充実しており、複合的な言語活動を取り入れた教材の割合も最も高くなっている。光村図書では、学び途中でのヒントや、中間振り返りが配置されるなどの特徴が見られる点が充実している。

観点②については、全ての発行者が今日の道徳的課題に関連した

内容を扱っている。その割合においても光村図書が高いが、他の発行者と大差はない。

観点③について、よりふさわしい発行者は、三省堂が挙げられる。観点③に関連した内容を扱う教材の割合は、差はほぼないが、三省堂では、防災、安全に関して興味・関心を引き出し、自分事として捉えることに加え、感想や意見等を発信できるよう設定されている点が充実している。

観点④について、よりふさわしい発行者は、東京書籍、三省堂、光村図書が挙げられる。東京書籍では、国際理解や国際貢献を促す題材が多く扱われている。三省堂では、諸外国やその文化に触れる題材から、更に、日本文化のよさを発信する態度を育成しながら、愛着がもてるよう配慮されている点が充実している。また、光村図書では、多様な文化を認め合う態度、日本文化の発信力を育成するよう配慮されている点に特徴があり、充実している。

観点⑤について、よりふさわしい発行者は、三省堂が挙げられる。三省堂では、英語を通じて、なんらかのテーマや他の教科で学んだ内容の理解を深めたり、視野を広げたりする学習形態である CLIL や ESD の考え方に基づいた内容を扱っていることなどから、学校の教育方針等によりふさわしいと考える。

【質疑等】なし

進行（会長） 外国語の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校は【光村図書】、【三省堂】、【東京書籍】、東葛飾中学校は、【三省堂】、【光村図書】、【東京書籍】がよりふさわしいということによろしいか。よろしければ、挙手を願う。

（委員）挙手全員

⑪ 道徳

説明（座長）

（千葉中学校） 観点①について、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版がよりふさわしいと考える。東京書籍は、教材を工夫するとともに、関連したコラムで、話し合いや体験的な学習を取り入れ、考えが深められるよう工夫されている。教育出版は、「やってみよう」で役割演技やリフレーミングなどを取り入れたり、問題解決的な学習で学ぶ資料を配置したりすることで、多様な考えを出し合い学習が進められ

るよう工夫されている。光村図書は、「チャレンジ」で自ら問いを立てて考えていくことで、問題解決的な学習ができるように工夫されている。日本文教出版は、「学びを深めよう」で道徳的諸価値について多面的・多角的に考えを深められるよう工夫するとともに、映像・動画等で主体的な学びをサポートするよう工夫されている。

観点②については、どの教科書も充実しているが、「いじめ防止」に関する内容の教材について絞ってしてみると、光村図書、日本文教出版、学研がよりふさわしいと考える。光村図書は、「いじめ問題」や「生命の尊さ」について多面的・多角的に考えられるよう様々な内容から「いじめ問題」にアプローチできるように多様な教材を配置している。日本文教出版は、いじめ問題に正面から向き合えるよう、教材をユニット化し、適切な時期に配置したり、知識やスキルを身に付けられるようなコラムを配置したりしている。学研は、様々な内容項目と関連させ、直接的・間接的に「いじめ防止」について考えられる教材や「生命の尊さ」について考えられる教材を1年間通して配置している。

観点③については、どの発行者も教材を適切に取り上げており、差異は認められない。

観点④については、各者がそれぞれに教材を各学年に配置したりするなど、工夫が見られる。

観点⑤について、東京書籍と日本文教出版がよりふさわしいと考える。東京書籍は、多面的・多角的に考えられるように「小学校道徳でよくあつかわれる教材」、「道徳×SDGs」など様々な教材やコラムを配置することにより、協働して互いに高め合う中で豊かな人間性を培う学習ができるという観点が充実している。日本文教出版は、問題解決的な学習や体験的な学習を通し、主体的・対話的、多面的・多角的に考えることができることや映像・動画、資料等が充実していることなどから、東京書籍同様、豊かな人間性を培うことにつながり、より教育方針等にふさわしい内容が充実している。

(東葛飾中学校) 観点①については、各者とも読み物教材に止まらずコラムを取り入れるなど様々な工夫がみられる。中でも東京書籍、教育出版と日本文教出版がよりふさわしく、問題解決的な学習や体験的な学習に結び付くような多様な教材を配置したり、二次元コードから学習者を支援するコンテンツへつながったりするなどの工夫がみられる。また光村図書では生徒が自ら問いを立てて考えられるような工夫があり、充実している。

観点②については、特に「いじめ防止」の視点や「生命の尊さ」について中心に比較、検討を行った。各者ともそれぞれ工夫がみられるが、特に内容の重点化やユニット化するなどを工夫し、より充実した構成になっている光村図書と学研、日本文教出版がよりふさわしいと考える。

観点③については、どの発行者も自然災害に対する防災教育や情報モラルについて考えられる教材を適切に取り上げており、差異は認められない。

観点④については、各者がそれぞれに、日本各地の伝統文化、郷土に対してゆかりのある人物等を取り上げたり、SDGsの視点や国際理解に関する教材を各学年に配置したりするなどの工夫がみられる。

観点⑤については、東葛飾中学校の経営の重点における新たな視点であるICT端末の活用と協働的で探究的な学びについて充実しているかを中心に、比較、検討を行った。ICT端末の活用については各者とも二次元コードを配置したり、多様なコンテンツにつながったりするように工夫されているが、特に東京書籍と日本文教出版がユニット学習や現代的課題に向き合えるよう内容が充実するなど、よりふさわしいと考える。また光村図書は、特に自ら問いを立てたり、互いに問いを立て合ったりするなど協働的な学びに結びつくように構成されており、学校の教育方針等に適した内容がより充実しており、ふさわしいと考える。

【質疑等】なし

進行（会長） 道徳の教科書は、選定理由書及び座長の報告から、千葉中学校は【日本文教出版】、【光村図書】そして【東京書籍】、東葛飾中学校は、【光村図書】、【日本文教出版】そして、【東京書籍】がよりふさわしいということによろしいか。よろしければ、挙手を願う。

（委員） 挙手全員

（事務局進行）

4 答申

会長から教育次長へ

「令和7年度使用県立中学校教科用図書の採択について」

（事務局進行）

5 諸連絡（事務局より）

- （１）答申内容の県ホームページへの掲載について
- （２）議事録について
- （３）資料等について

6 閉会